

推進しました！

PICK
UP!

＼ 着実にすそ野が広がる“奨学金返還支援制度” ＼

本制度は、私が2015年9月定例会で人口減少問題を取り上げる中、提言を行い、2018年度から導入されました。対象分野は「ものづくり」「IT」「観光」の3分野。対象者は大学生・大学院生の100名。支援金額は最大117万円～141万円。このほかこれまでに、知事が指定する医療機関で一定条件のもと勤務した場合、奨学金全額が返還免除される“地域医療医師確保期間選択制奨学金”や“愛媛大学医学部医学科「地域特別枠」”制度が導入され、順次、対象が拡大されています。そして今年度からは、新たに“教員確保のための奨学金返還支援制度”が導入されます。対象は来年度採用の小学校教員30名となります。今後も、1人でも多くの若者がUターンしやすい環境の整備を進め、農林水産業、介護、福祉など県内の幅広い分野に“奨学金返還支援制度”が導入されるよう取り組んでまいります。



中核産業人材確保
のための奨学金
返還支援制度▶



地域医療
医師確保期間
選択制奨学金▶



愛媛県地域医療医師確保
奨学金・愛媛大学医学部
医学科地域特別枠(推薦B)▶



PICK
UP!

＼ 道路の異状をLINEで通報する#9910の導入 ＼

本制度は、私が2022年6月定例会で道路の陥没問題を取り上げる中、提言を行い、本年3/29から導入されることとなりました。路面の穴ぼこや落石・落下物など道路の異状を発見したら、LINEにより誰でも簡単に通報できるシステムです。詳しくは県ホームページをご参照ください。



国土交通省LINE通報アプリ#9910 ▲

プロフィール



○生年月日/1964年1月22日 ○出身校/今治西高校、香川大学経済学部卒 ○職歴/㈱ADKホールディングス勤務を経て現職
○当選/5回(2007年4月～) ○会派/公明党(県幹事長) ○常任委員会/総務企画委員会
○特別委員会/地方創生・産業振興対策特別委員会
○役職/観光産業振興議員連盟(理事) スポーツ振興議員連盟(理事) 地域公共交通活性化促進議員連盟(理事)
高速自動車道路整備促進議員連盟(理事) 太平洋国土軸建設促進議員連盟(理事) 防衛議員連盟(理事)等
○資格等/愛媛県行政書士政治連盟顧問、防災士

PROFILE

愛媛県議会議員木村ほまれの県政レポート

2024
.....
春号

ほましポ

HOMARE's policy

地域の声を、 県政に。

Bringing the voices
of the community
to the prefectural
government.



新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、先般開催された県議会2月定例会は、2024年度当初予算を含む71件を可決し、閉会しました。一般会計は過去最大となる7283億円で、人口減少対策、防災減災対策、地域経済対策、DX推進を柱に、県民生活の安全安心と、よりよい地域社会の実現をめざした取り組みが進められます。

今号では、2月定例会における私の一般質問や委員会質疑をはじめ、昨年度下半期の諸活動についてダイジェストでご報告させていただきます。

元日に発生した能登半島地震は全国に衝撃と深い悲しみをもたらしました。あらためて犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます。本県におきましても、南海トラフ巨大地震をはじめ大規模災害への備えを今一度見直す必要があり、2月定例会では“防災減災”に関する議論がこれまで以上に活発なものとなりました。

今後も、山積する県政課題に1つ1つ答えを見出だしながら、皆様とともに、安心と希望あふれる愛媛の未来を拓いてまいりたいと思いますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年5月吉日

愛媛県議会議員 木村 ほまれ

木村ほまれ
公式
アカウント



ホームページ



ほましポ

愛媛県議会議員木村ほまれの
県政レポート
2024 春号
発行日/2024年5月
発行人/木村 誉

事務所 〒790-0003
松山市三番町7丁目6-2-201
TEL・FAX 089-935-8940
メール homasan@gmail.com

皆様の思いに寄り添いながら 山積する県政課題の解決に 全力!

〈2月定例会 一般質問/答弁概要〉



質疑全文はこちら▶



震災対策の見直しについて

Q

能登半島地震を受け、孤立地域の避難、輸送路確保の視点から県地域防災計画をどのように見直すのか

A

集落孤立の可能性を含め、新年度にあらためて地震被害想定調査を行う。その結果を踏まえ、道路啓開計画等の検証を行い、国・市町・防災関係機関との連携強化や民間企業等との災害時連携協定の締結拡大など、原子力災害時も含めた避難・輸送体制の充実を図り、県の地域防災計画に反映させたい。

県民所得の向上について

Q

一人当たり県民所得の向上に向け、労働生産性の向上と外国人材の活用など就業者確保にどう取り組むのか

A

デジタル技術やロボットを実装し地域課題の解決に挑戦する“トライアングルエヒメ”を加速し、農林水産分野を含む多くのデジタル実装プロジェクトを展開するとともに、県内大学と連携したデジタル人材育成や外国人技能実習生の受入推進等により就業者を確保し、2026年度1人当たり県民所得288.4万円の目標達成に向け取り組む(2020年度は247万円)。

空飛ぶクルマについて

Q

空飛ぶクルマに関するこれまでの取組みにどのような期待や意見が寄せられているのか。また、今後どのように取り組んでいくのか

A

安全性が課題との意見もあるが、過疎・離島地域の移動や災害救助、救急医療への利活用、主要な観光地を周遊するツアー造成によるインバウンド需要の獲得などの期待が寄せられている。来年度は、離発着場の候補地調査を行う。国の法整備等の動向も注視し、100年に1度とされる新しいモビリティの早期導入に向け取り組む。

常任委員会での質問・提言

昨年度下半期に行われた常任委員会では、

観光スポーツ文化部に対し ●県民文化会館の管理運営 ●県美術館の文化観光推進 ●萬翠荘のブランディング ●松山空港国際線の活性化 ●えひめアートプロジェクトの推進等について

県教育委員会に対し ●特色入学者選抜 ●通級指導 ●GIGAスクール ●スクール・サポート・スタッフ事業 ●教員確保対策 ●防災士養成事業等について

県警察本部に対し ●まもるナビの普及 ●あおり運転の撲滅 ●若者の大麻使用 ●特種詐欺対策 ●治安対策の強化 ●自動車後部座席のシートベルト着用率向上等について質問・提言を行いました。

県民相談 皆様から寄せられた声を、1つ1つカタチに



▲下り坂の先に横断歩道があり危険なため、注意喚起の看板を設置(松山市)
▲通学路がある県道のスピードを抑制するため、速度制限表示を設置(西条市)

その他の質問項目 ・次世代を担う国内外の企業誘致について ・身体障害者補助犬の理解促進について ・奨学金返還支援制度の拡充について

2023年度下半期の主な活動

10月



▲観光スポーツ文教警察委員会の県外視察(長崎県議会)



▲県政報告(西条市)

12月



▲日本介助犬協会の四国キャラバンでの県庁訪問

1月



▲地方創生・産業振興対策特別委員会の県外視察(北海道議会)



2月



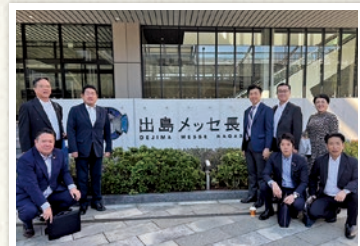
▲伊方原発視察



▲がん対策推進議連の県外視察(楽天メディカル株式会社)



▲毎週月曜日をはじめ県下各地で活動報告



▲観光スポーツ文教警察委員会の県外視察(長崎国際観光コンベンション協会)

物価高騰対策と経済再生に向けた知事への緊急提言



11月



▲国際交流促進議連による韓国視察(チェジュ航空)



▲新年度当初予算編成に関する会派要望



▲松山外環状線空港線「余戸南IC～東垣生IC」開通式